

[平成28年度栃木県環境活動促進事業助成金交付決定団体一覧]

No.	団体の名称	活動の名称	活動の概要
1	横川エコの会	残飯を使った堆肥作りによる 循環型社会の推進活動	畑の一部を借用し2坪程度の堆肥場を設置し、そこに牛ふん、学校給食の残飯、野菜くず、米ぬかを集め堆肥化する。堆肥場を地域にアピールするとともに、できた堆肥を学校に還元したり、野菜の育て方などの講習会や地域ふれあい祭りに参加し循環型社会を啓発・推進する。
2	エコと自然を愛する真岡の会	特定外来植物や身近な生物の標本作りと CO2吸収調査と啓発活動	季節ごとに、身近な特定外来植物や守るべき生物の標本を作るほか、伊勢崎の森(真岡市)で森林の吸収量を推定するための調査を行う。それらの資料や微生物電池を用いて、小学校、公民館、高齢者介護施設で出前授業を行い、森林の大切さ、身近にある守るべき生物や駆除すべき植物を知ること、森や自然を保護する活動につなげてもらう。また、各種イベントに参加し、作成した資料を用いて来場者に啓発する。
3	宇都宮工業高校 再生可能エネルギー研究クラブ	再生可能エネルギーの研究、作品の製作	再生可能エネルギーについて学習をしながら、再生可能エネルギーを利用した乗り物として、ミニソーラーカー及び新幹線型の電動乗り物を製作し、内外のイベント等に参加し、環境活動への意識向上を目指す。
4	環境文化都市やいた創造会議	環境人材育成プロジェクト	市内各所において生物・植生・地質について、専門家の解説をうけながら、地域の魅力を再発見する観察会・講演会を3回実施する。里山保全の重要性を認識してもらうため、整備活動に加え里山林を主な住処とするフクロウの営巣環境保護活動(巣箱の制作・設置)を1回実施する。実施に際しては宇都宮大学や市内外のNPO等環境保全活動団体のほか、市内を拠点に活動するトレッキングガイド等の協力を得ながら行う。
5	地球温暖化対策地域協議会 MEAK	企業従業員を対象とした 温暖化防止啓発活動	企業に出向いてその従業員に対して家庭でできる取り組みについて啓発する。企業にも従業員にも負担にならないよう休み時間や休憩時間を使って、少人数を対象に温暖化防止の啓発をする。少人数を対象に自由に出入りができるよう、昼休みの時間等に環境省のDVDなどをプロジェクターで何か所かで投影し、従業員が食事をしながら、休憩をしながら見てもらえるようにする。合わせてパネルも掲示する。